

こんにちは

日本共産党市会議員

森田 ゆみ子 です



子どもには笑顔
若者に仕事を
老後には安心を。



2017/1/29 号

日本共産党京都市会議員団 tel 222-3728 fax 211-2130
市会議員団ホームページ<http://cpgkyoto.jp/>

森田ゆみ子ホームページ<http://morita-yumiko.jp/>

新年あけましておめでとうございます。

今年も南区に住む皆さんの生活が少しでも良くなっていくよう頑張る決意です。



さっそく、年明けから年始ごあさつまわりや街頭からの宣伝にまいしんしています。1月4日早朝は、市役所東門で新春の初出宣伝を行い、登庁する市職員の方に「新年のあいさつ」をしました。昨年は、野党と市民の共闘が大きな力を発揮した年でした。今年も、この野党共闘をさらに押し進め、安倍政権に代わる新しい政権を一刻も早く、市民の皆さんと一緒に作っていきましょう。

■ 初の代表質問に立ちました

昨年11月30日 森田ゆみ子は市会本会議で、代表質問を行いました！みなさんの切実な声にもとづいて質問。これからは、実現にむけて、さらにはがんばります。

質問内容と市長答弁を裏面に掲載しています。ぜひご覧ください。



◆ 「議員活動報告動画」を作成しました。

森田ゆみ子のホームページの右下の方ある動画コーナーから見られます。上鳥羽の地域や西大路駅のバリアフリー問題などが出てきます。ぜひご覧ください。



◆今年初めての19日行動、野党そろっての訴え

今年初めての「戦争法廃止19日行動」が市役所前でおこなわれました。市役所前の集会には、450人の市民が参加、野党そろっての訴えがありました。

日本共産党の倉林明子参院議員、民進党の福山哲郎参院議員、社民党京都府連の野崎靖仁幹事長があいさつされ、自由党からもメッセージが寄せられました。



◆南区小学校コーラス交歓会に参加しました

12月3日、京都テルサで「南区小学校コーラス交歓会」の本番、発表会がありました。

6月から練習がはじまり、みんな家の用事や仕事をしながらの人もいなかで、全員そろっての練習も難しかったですが、本番当日は息ピッタリで、私も気持ちよく歌うことができました。



代表質問

11月30日

森田ゆみ子の代表質問

美術館の巨額な再整備計画を見直し、ネーミンググライツ決定は撤回せよ。全員制の温かい中学校給食実施を。

(記事は、市議会議員団の市議会報告パンフに掲載のものです)

京都市美術館のネーミンググライツ撤回を

森田議員は、民間資金を活用するため、公的施設の命名権を企業に売却する「ネーミンググライツ」を京都市美術館に導入する問題について質問。「美術館にはふさわしくない」との声が広がる中、京都市は企業の募集を強行し、「京セラ」に決定しました。9月議会で「今までの経過を反省する」よう求める決議が全会一致で可決されましたが、この決議の受け止めについて質し、美術館へのネーミンググライツの決定は撤回すべきと求めました。



市長は、決議を「真摯に受け止めてい」としたものの、「京セラ様に敬意を表する」「多くの賛同が広がっている」などと答弁しました。

巨額な美術館再整備は設計見直しを

100億円もの巨額の工事費については、岡崎活性化プランの「にぎわい創出」として、本館入口となる地下1階をガラス張りにし、売店やカフェを外から目立たせるためのスロープにこだわるところが、予算を膨らませているのではないかと指摘し、専門家や美術関係者の意見を取り入れた設計の見直しを求めました。

市長は、スロープ広場は「選定委員会で高い評価を得た」と、規模縮小の考えがない態度を示しました。

美術館工事中の展示施設の確保と財政的支援を

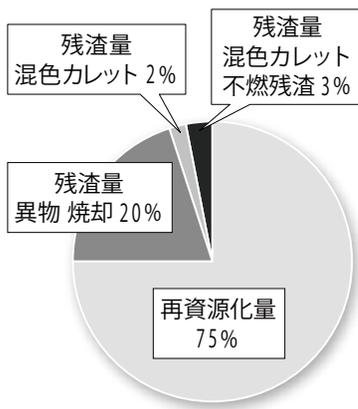
再整備中の3年間の代替展示施設の確保については、市の対応が会場の紹介にとどまっていることを指摘。利用料などに補助を出すこと、市が責任を持って施設を確保することを求めました。

市長は、「確保を検討」とはいふものの、財政的援助は公平性の観点等から困難などと答弁しました。

缶・ビン・ペットボトルの分別収集を

森田議員は、缶・ビン・ペットボトルを混ぜて収集している問題について、ごみ袋に混入する異物が重量で20%もあり、結局燃やされること、混ぜて収集することとは分別意識の向上に逆行すると指摘。収集日などを工夫し、分けて収集することを求めました。

缶・ビン・ペットボトルへの異物混入状況



資源ごみ袋は廃止し、家庭ごみ袋代の値下げを

資源ごみ袋は、リサイクル法の対象にならず、年間437トン(15年度)がごみとして燃やされると指摘。市がごみになるレジ袋を「作らない、買わない」とする一方で、ごみになるものを作って買わせるのは矛盾していると指摘し、資源ごみ有料指定袋はやめるべきと求めました。また、「家庭ごみ袋代の値下げ」の請願にもこたえ、値下げするよう求めました。

副市長は、資源ごみ袋を統一することが環境意識の向上になる。袋代の価格を据え置いてもごみが増える自治体が多いなどと答弁し、値下げに背を向けました。

全員制の温かい中学校給食実施を

森田議員は、小学校のような温かい全員給食を中学生にも食べさせたいと願う保護者の声を紹介。京都市の「子どもの生活状況等に関する調査」結果からも、早急に実施する必要があると、中学校給食のあり方のアンケート調査を行うよう求めました。また、府議会で知事も実施に向け「市町村に支援していきたい」と答弁しており、府市協力で中学生にも温かい全員給食を実施するよう求めました。

教育長は、「少なくとも200億円かかる」と冷たい答弁を繰り返して拒否をしました。

南区久世の市バス運行の改善を

森田議員は、久世地域を走るバスは1時間に1〜2本で、子ども連れやお年寄り、障がい者の移動が困難な問題について、区役所への市バスを早急に増やすこと、久世地域のバスの本数を抜本的に増やすこと、国道171号線沿いの「中久世」バス停にJR桂川駅行き市バス42番が停まるよう改善を求めました。

交通局長は、「採算性が厳しいので増便は困難。国道171号線の42番の停車は、安全の問題で難しい」と答弁しました。

森田議員は久世地域のバス停の屋根とベンチの設置が遅れている問題について、企業の所有地を借りるなど、一刻も早くバス待ち環境を改善するよう求めました。交通局長は、様々な工夫を行い、久世地域をはじめ周辺部のバス待ち環境の向上に取り組むと答弁しました。